

町が、議会が、住民が

航空機落下物問題等で嚴重な抗議

五月二十日に開港五周年を迎えた新東京国際空港——
その華やかな発展ぶり、今や千葉県象徴とさえなりつつ
あります。
一方その裏側に位置する私たちの町では、騒音公害や落下物
といった新たな問題が生じ、住民生活が著しくおびやかされて

います。
こうした事態を憂慮した町や議会では、先月の中旬、運輸省
や空港公団に対して、従来にも増しての強い姿勢で、改善を求
める抗議を行いました。

十分な回答は得られず

町議会が運輸省・公団と会談

町の議会議員一行が、六月十七日に成田市の空港公団を訪れ、運輸省と公団に対して抗議と陳情を行いました。

を發した。

◇到着便の一斉点検を実施した。

◇各航空会社責任者を集めミーティングを行っている。

◇航空機の製造会社に対しても構造上の検討をさせている。

◇落下原因者不明の場合の補償措置として保険制度を創設した。

◇脚出しの位置など操作上の問題はないか

◇ギアダウンと落下との関係については因果関係が認められない。

◇脚出しの時期については、各エアラインがそれぞれの規定にそって実施しているため、規制をすることに他の操作に影響を与える、安全運行上問題を生ずる恐れがある。

落下の原因は何か

◇部品については、明らかに離陸空港での整備点検不良である。

◇氷塊については、上空の温度変化によるものと思われる。

◇その他落下原因については現在

も関係機関で調査研究中である。

保険制度

創設された補償制度の目的は

◇落下により生ずる地上の損害のうち原因航空機が判別できない場合の救済策として制定した。

補償の額は明確に定められているのか

◇一件当り百二十億円を限度としている。

◇個々の額は、その状況に応じて被害者と協議の上定める。

運輸省・公団の立場が不明確だ

◇事故を生じた場合は責任をもって話し合いの中に入る。

精神的苦痛に対する補償は

◇気持としては理解するが、他への影響もあるので応じかねる。

飛行コース

飛行コースの乱れをどのようにチェックしているのか

◇中台地区へ常設の検知機を取付けた。

◇管制塔でも極端なものには注意している。

指導の効果は出ているのか

◇従来よりは好転している。

監視器機を役場より下へも付けるべきだ。

◇今後十分検討し、可能な限り実施したい。

二期工事

工事の規模・概要は

◇どのような機種を、どの程度利用するのか等が未確定の段階なので、内容もつま

落下物

どのような対策を講じたのか

◇運輸省内へ落下物対策委員会を設置した。

◇AOC(航空会社運営者協議会)

に対し、数度にわたり警告文

を發した。



議員の質問に答える運輸省職員